

資料番号

地域 3

令和8年9月17日

課 名 地域政策局中山間地域振興課

担当者 課長 椎島

内 線 2631

令和7年度

中山間地域の振興に関する 主な施策の実施状況

令和8年9月

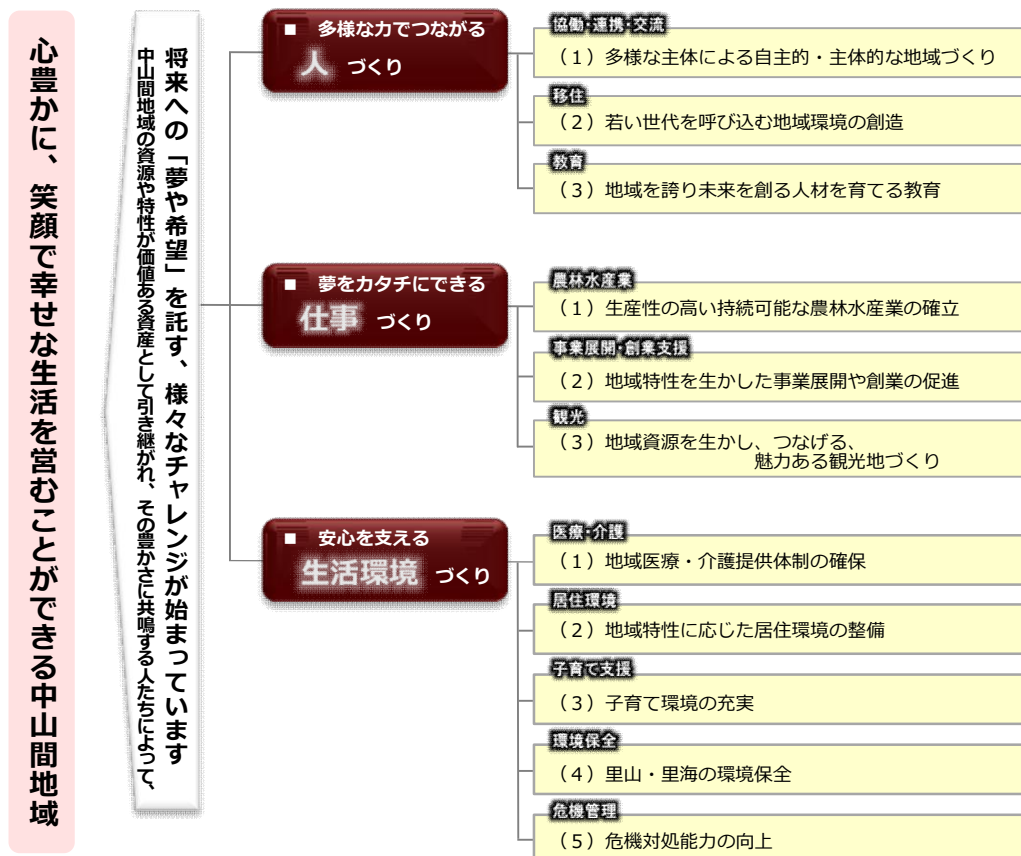
広 島 県

1 令和7年度の取組状況

- 「第Ⅱ期広島県中山間地域振興計画」に基づき、「人づくり」、「仕事づくり」、「生活環境づくり」の3つの施策に沿って、市町と連携しながら、総合的な取組を進めた。
- 「人づくり」では、地域づくりに取り組む多様な人材の育成・確保に加え、そうした人材のチャレンジの後押しを行った。
- 「仕事づくり」では、中山間地域の基幹産業である農林水産業における生産性や経営力の向上、地域経済を支える中小企業の人材確保支援などに取り組んだ。
- 「生活環境づくり」では、医療・介護、生活交通、買物、防災など日常生活に不可欠なサービスの維持・向上に、デジタル技術も活用しながら取り組んだ。
- また、令和6年10月に策定した「集落対策の推進」に基づき、住民主体の話し合いを通じて、将来のあるべき姿に向けた合意形成を図り、地域の持続可能性を確保していく「集落対策」を推進した。
- 県全体を大きく上回るスピードで人口減少や高齢化が進み、医療・介護、生活交通、買物など日常生活に不可欠なサービス機能が縮小するなど、中山間地域を取り巻く環境は一段と厳しさを増している。こうした厳しい現状を受け止めた上で、第Ⅲ期広島県中山間地域振興計画では、地域の持続性を確保するため、地域内外の多様な人材がつながり、社会全体による支え合いや協働によって、未来への可能性を共に広げながら、地域の活力へと変えていく「持続可能な地域づくり」を推進する。

《施策の体系》

～「第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画」から抜粋～



2 主な取組の概要

ひと

(1) 多様な力でつながる 人づくり

- ◇ 中山間地域の将来を担うリーダーを発掘、育成するとともに、その活動が、将来にわたって主体的かつ継続的に展開されるよう、活動の支援やつながりづくりの後押しを通じて、多様な主体が連携、協働して支え合える地域づくりを進めた。
- ◇ 地域のスポーツ資源を活用した地域活性化を目指す取組として、市町の目指す姿や戦略の策定、実現に向けた支援を進めた。
- ◇ 東京圏等からの移住者の獲得に向けて、広島らしいライフスタイルの「魅力発信」や移住希望者と地域の「マッチング」、移住者に対する「受け皿づくり」に、市町等と連携して取り組んだ。

【主な指標の達成状況】

主な指標	基準値 (R元)	目標値 (R7)	実績値 (R7)
人材プラットフォーム「ひろしま里山・チーム500」の登録人数	345人	680人	843人
地域の資源と呼べるスポーツを活用して地域活性化を図っている市町数	3市町 (R2)	14市町	13市町
移住希望地域ランキング	2位	5位以内を維持	10位(セミナー) 16位(窓口)
県外からのUIターン転入者数 (全域過疎市町)	271人	301人	241人
地域に貢献しようとする意欲を持っている中山間地域の県立高校生徒の割合	62.7%	80.0%	64.5%

※ 地域を限定していない「指標」の目標値は、全県を対象とする数値

◆ 新たな人材の育成【地域政策局】

地域づくり実践人材の育成を推進

《ひろしま「ひと・夢」未来塾》 第11期

中山間地域の課題解決に向けた地域とのつながりづくりを学ぶ「地域とつながり課題解決コース」、創業のノウハウや手法等を学ぶ「起業準備コース」の2コースによる人材養成塾を開催

・受講生 27人（地域とつながり課題解決コース：12人、起業準備コース：15人）

◆ 「ひろしま里山・チーム500」を活用した活動の活性化【地域政策局】

地域づくりをリードする人材の活動が、将来にわたり主体的かつ継続的に展開していくよう、チーム500に登録する人材を対象に、人材ネットワークの強化や活動に要する資金の調達などを支援

・登録者数 (単位：人)

年度	H28	H29	H30	R 元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
目標	70	255	290	325	360	425	490	555	620	680
実績	70	260	294	345	381	493	598	714	783	843

・活動状況

- ✓クラウドファンディングセミナーの開催
- ✓ポータルサイトを活用したメンバーと関心層との交流促進
- ✓チーム500登録者の連携による「さとやまマルシェ」の開催 など

◆ つながりづくり活動支援【地域政策局】

《中山間地域と都市部等のつながりプログラム》

県内6地域において、中山間地域の地域づくり活動実践者を対象に、中山間地域の課題解決に向け、地域外の都市部住民や企業などの「関係人口」との連携手法を学ぶワークショップを開催

・参加者 66人

《中山間地域と都市部等のつながりづくり支援補助金》

市町や地域づくり活動実践者の取組支援

・補助件数 21件
・補助実績額 15,155千円

◆ 集落対策の実施【地域政策局】

住民主体の話し合いを通じて、集落の状況に応じた必要な機能を明らかにした上で、限られた資源の中で住民合意に基づき将来に備える「集落対策」を推進

- 集落の実態や将来リスクを関係者が共有するための客観的データの作成支援
 - 地域・集落の将来のあるべき姿やその実現のための適応策の検討といった話し合いを円滑に進め、合意形成に導く専門人材の派遣
 - 他市町の先進的な取組状況や成果、課題などの情報提供
- ・話し合いに着手した住民自治組織数 11組織

◆ スポーツを活用した地域活性化推進事業【地域政策局】

県内市町が主体的に取り組む、様々なスポーツ資源を活用した地域活性化「わがまち♡スポーツ」に対し、ノウハウや人脈などの人的支援及び補助金による財政的支援を実施

- ・わがまち♡スポーツ取組市町 13市町

〔取組状況〕

- R 2 年度～ 福山市・府中市・北広島町
- R 3 年度～ 呉市・三次市・廿日市市
- R 4 年度～ 尾道市・大崎上島町
- R 5 年度～ 広島市・三原市・安芸太田町
- R 6 年度～ 坂町
- R 7 年度～ 竹原市

◆ ひろしまスタイル定住促進事業【地域政策局】

都市と自然の近接性という地域特性を生かした広島らしいライフスタイルの「魅力発信」、移住希望者と地域の「マッチング」や移住者に対する「受け皿づくり」を支援

- ・移住専用HP「HIROBIRO.」のユーザー数（広告流入分除く） 104,020人
- ・東京相談窓口「ひろしま暮らしサポートセンター」での相談件数 1,697件
- ・移住支援金の交付 54件

◆ 学びの変革推進事業【教育委員会】

都市部の学校と比較して、多様な価値観や高度な学びに触れる機会が限定されやすい中山間地域の小規模校等において、学校規模や地理的状况に捉われることなく、質の高い学びを享受できる学習環境を整えることで、「学びの変革」の更なる充実に必要な教育環境を全県で整備

- ・遠隔授業の実施：都市部の高等学校2校から中山間地域の小規模校高等学校6校に対して、生徒の進路実現に必要な一部の教科・科目（理科・「物理」及び「化学」）の遠隔授業を実施

- ◇ 「生産性の高い持続可能な農林水産業の確立」を基本理念とする「2025 広島県農林水産業アクションプログラム」に基づき、スマート農林水産業の実装等による生産性や経営力の向上、県産農林水産物の高付加価値化などの取組を進めた。
- ◇ 企業のサテライトオフィスを誘致する市町の取組や、意欲ある人材の創業、中小企業の課題解決に向けた首都圏等の副業・兼業人材の活用などを支援した。
- ◇ 観光面では、地域資源を生かした付加価値の高い観光プロダクトの開発や、国内外に向けた本県の多様な魅力発信にも取り組んだ。

【主な指標の達成状況】

主な指標	基準値 (R元)	目標値 (R7)	実績値 (R7)
農業産出額（畜産を除く）	712億円 (H30)	732億円 (R6)	906億円 (R6)
広島和牛を肥育する企業経営体の飼養頭数	1,800頭 (H30)	2,730頭	2,378頭
経営力の高い林業経営体数	2社	15社	15社
行政・経済団体・金融機関等連携による「オール広島創業支援ネットワーク」を利用した創業件数(全域過疎市町)	18件	現状水準を維持	13件
年間総観光客数(全域過疎市町)	1,543万人	1,709万人 (R4目標水準を維持)	1,351万人

※ 地域を限定していない「指標」の目標値は、全県を対象とする数値

◆ 経営力向上支援事業【農林水産局】

企業経営への転換を目指し、経営者意識の醸成と経営発展段階に応じた経営管理の手法を習得する講座（ひろしま農業経営者学校）を開講するとともに、人材育成や予算・実績管理など担い手の経営課題の解決に向けた専門家派遣による伴走支援（14経営体）等を実施

◆ 食のイノベーション推進事業【農林水産局】

農水産事業者と様々な企業が連携して、新商品やサービスの提供など、新たな「食」のビジネスを創発するプロジェクトの立ち上げを支援し、審査会を経て採択された9プロジェクトについて、実行計画の実現に向けた専門家による伴走支援などを実施

◆ ひろしま型スマート農業推進事業【農林水産局】

本県の中山間地域に対応した「ひろしま型スマート農業技術」の確立に向け、企業等が県内の農業者のほ場において実証を行い、農業者の意見を踏まえながら技術改良を実施するとともに、改良されたスマート農業技術を導入した経営モデル（9品目）を普及させるため、セミナー等を開催

◆ 広島和牛ブランド構築事業【農林水産局】

広島和牛のブランド力強化に向け、料理人と連携した高級飲食店での定期提供（53店舗）、魅力の訴求につながる飼養管理方法の調査・開発及び認知獲得のためのSNSや雑誌等様々な媒体を活用した情報発信等を実施

◆ 広島和牛経営発展促進事業【農林水産局】

畜産経営体の飼養頭数の拡大に向け、和牛受精卵の供給体制の強化、酪農経営と肥育経営における受精卵産子の供給協定の拡大、県血統和牛の交配・保留促進及び経営体の経営力向上のためのセミナー（県域セミナー2回、地域セミナー3回）等を実施

◆ 林業・木材産業等競争力強化対策事業【農林水産局】

林業・木材産業の成長産業化の実現のため、木材生産に必要な路網整備や高性能林業機械3台の導入、間伐した木材の搬出など、県産材の安定的・効率的な供給体制の構築に向けた取組を支援

◆ 水産業スマート化推進事業【農林水産局】

デジタル技術の活用によるかき養殖の生産安定化に向け、漁場に設置した水温センサー（15地点）のデータを活用した身入りの良いかきの安定生産等の実証に取り組むとともに、水産資源の回復に向け、海底耕うんによる漁場環境改善効果の検証等を実施

◆ 瀬戸内さかなブランド化推進事業【農林水産局】

品質を重視する漁業者を「こだわり漁師」と位置づけ、漁業・流通・飲食関係者が一体となった魅力づくりや流通強化を図るため、取組への共感店舗において瀬戸内さかなの魅力を感じ・満喫できるフェア（延べ122店舗）の開催や、インフルエンサーを活用した情報発信、広島市中央卸売市場において「こだわり漁師の特別競り」などを実施

◆ 鳥獣害に強い集落等育成推進事業【農林水産局】

野生鳥獣による農作物被害額の低減に向け、市町が作成した鳥獣被害対策プログラムの実施や広域的かつ戦略的な対策を進めるプロフェッショナル組織「テゴス」の活動（10市町参画）を支援するとともに、交付金を活用した侵入防止柵や捕獲罠の整備、市町の要請に基づく広域捕獲等を実施

◆ チャレンジ・里山ワーク拡大事業【地域政策局】

中山間地域における新しいワークスタイルの定着と仕事づくりを推進するため、地域資源を活用して企業のサテライトオフィスを誘致する市町を支援

- ・支援対象市町 13市町（呉市、三原市、尾道市、三次市、庄原市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、神石高原町）
- ・お試しオフィス利用件数 37件
- ・サテライトオフィス進出決定企業数 68社（累計）

◆ 中山間地域外部人材活用支援事業【地域政策局】

中山間地域において人材不足等の課題を抱える中小企業が首都圏等の外部人材（副業・兼業人材）を活用して、自社の経営課題に継続的に取り組み、持続可能な企業経営を実現するよう支援

- ・副業・兼業人材の活用に向けたセミナー参加企業数 367社

◆ 観光地ひろしま推進事業【商工労働局】

県内周遊の促進や滞在時間の延長に向け、事業者等が行う観光プロダクト開発への支援やデジタル技術等を活用した受入環境の整備のほか、これらの情報を発信するためのプロモーション等を実施

- ・観光プロダクト開発支援件数 4件（全域過疎市町）

- ◇ 中山間地域における医師の高齢化や医師不足などの状況を踏まえ、将来の中山間地域の医療を担う医師の育成を図るとともに、へき地医療拠点病院が行う無医地区への巡回診療やへき地診療所に対する代診医の派遣などを支援し、中山間地域における医療提供体制の充実に努めた。
- ◇ また、日常生活に不可欠な生活航路やバス路線など、中山間地域における生活交通の維持・確保に努めるとともに、デジタル技術を活用して生活に身近な地域課題の解決に取り組む市町を支援した。
- ◇ 加えて、多様な主体による自主的・継続的な里山の保全活動への支援など、県民共有の財産としての森林を守り育てるための取組を推進するとともに、県民一人一人が、災害から命を守るために適切な避難行動を実践できるよう、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動行動計画に基づき、マイ・タイムライン作成等の取組を推進した。

【主な指標の達成状況】

主な指標	基準値 (R元)	目標値 (R7)	実績値 (R7)
医療や介護が必要になっても、安心して暮らし続けられると思う者の割合	55.6% (R2)	69.0%	31.8%
デジタル技術を活用した課題解決モデルの創出	—	10件以上	36件
安心して妊娠、出産、子育てができると思う者の割合	80.0% (ひろしまネウボラを実施している市町)	74.0% (全市町)	74.1% (全市町)
手入れ不足の人工林の年間間伐面積	617ha	1,050ha	836ha
避難の準備行動ができている人の割合	13.6% ^{注1}	50.0%	17.9% ^{注2}

※ 地域を限定していない「指標」の目標値は、全県を対象とする数値

注1:「令和元年度防災・減災に関する県民意識調査」において、「広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動行動計画」で掲げる5つの行動目標(「知る」「察知する」「行動する」「学ぶ」「備える」)を全て実践していると回答した人の割合

注2:注1に、「マイ・タイムラインの作成」も要件に追加

◆ **地域医療介護総合確保事業（広島県地域医療支援センター運営事業）【健康福祉局】**

広島県地域医療支援センターにおいて、県育成医師の配置調整や臨床研修病院と連携した初期臨床研修医の確保、ベテラン医師の再就業支援等を実施

- ・自治医科大学卒業医師の配置 21人（13医療機関）
- ・ふるさと卒医師等の中山間地域への配置 59人（7医療機関）
- ・医学生 of 中山間地域医療機関の診療見学等 182人（28医療機関）

◆ **地域医療体制確保事業（医師確保等）【健康福祉局】**

中山間地域に就業する医師確保のための医学生に対する「広島県医師育成奨学金」の貸付や、広島大学医学部で行う地域医療に関する寄附講座の運営を支援することにより、将来の地域医療を担う医師を育成

- ・ふるさと卒医学生に対する奨学金の貸付 114人（新規貸与20人を含む）
- ・その他の医学生に対する奨学金の貸付 8人（新規貸与1人を含む）

◆ **地域医療体制確保事業（へき地医療等）【健康福祉局】**

へき地医療支援機構の調整・指導を受けて、へき地診療所等に対する代診医派遣や無医地区等への巡回診療等を行うへき地医療拠点病院に対し、その施設・設備整備費及び運営費を助成

- ・移動診療車による巡回診療 県内13か所 / 受診者 延べ3,059人

◆ **オンライン診療活用検討事業【健康福祉局】**

オンライン診療・服薬指導について、診療パターンに応じた実証事業を実施し、得られた知見を横展開することで、利活用を推進

- ・巡回診療 1施設 / 計10名診療
- ・医師派遣 4施設 / 計14名診療
- ・在宅医療 6施設 / 計4名診療

◆ **へき地等巡回診療【健康福祉局】**

瀬戸内巡回診療船「済生丸」の運航を支援し、離島における住民への医療提供を維持するとともに、地域医療に従事する医師の研修機会を確保

- ・巡回診療船による巡回診療 県内9島しょ部 / 受診者 延べ679人

◆ **デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業【地域政策局】**

中山間地域における生活に身近な分野における課題の解決に向け、デジタル技術を活用したサービスの実装に取り組む市町を支援

- ・デジタル技術の実装に取り組んだ市町 9市町
（呉市、三原市、府中市、三次市、東広島市、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、世羅町）

◆ **広島型MaaS推進事業【地域政策局】**

交通と生活サービスの相乗効果を生み出す「広島型MaaS」に取り組む市町の実証実験等を支援するとともに、交通空白地域における交通の利便性と持続可能性を高める新たな移動サービスについて、社会実装に向けた実証運行を実施

◆ **生活交通確保対策事業【地域政策局】**

地域の幹線的な事業者バス路線を重点的に維持し、広域的な生活交通を将来にわたり安定的に確保

- ・補助対象事業者数 15事業者（補助対象系統数52系統）

◆ **市町生活交通支援事業【地域政策局】**

日常生活を支える市町等運行路線を維持するとともに地域の実情に応じた再編を促進することで、身近な生活交通を将来にわたり安定的に確保

・補助対象市町数 21市町（補助対象系統数328系統）

◆ **離島交通対策事業【地域政策局】**

国の補助制度を補完し、離島航路所在市町に対して航路の維持・改善を図るための支援を行い、離島住民にとって必要不可欠な生活交通を確保

・支援市町 5市町（呉市、尾道市、福山市、大竹市、大崎上島町）／ 支援航路 7航路

◆ **ひろしまネウボラ構築事業【健康福祉局】**

ひろしまネウボラの全県展開に向け、市町と理念を共有した上で、基本型の導入や実施に要する経費等を支援するとともに、ネウボラ相談員の質の向上を図るため、ガイドラインに沿った人材育成研修を実施

◆ **ひろしまの森づくり事業【農林水産局】**

県民全体が享受している県土の保全や水源のかん養など森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、手入れ不足の人工林の間伐や放置された里山林の整備への支援のほか、地域住民団体や森林ボランティア団体など（団体数はR元の67団体から46団体増加してR7は113団体）、県民全体で森林を守り育てる取組を支援

◆ **海ごみ対策推進事業【環境県民局】**

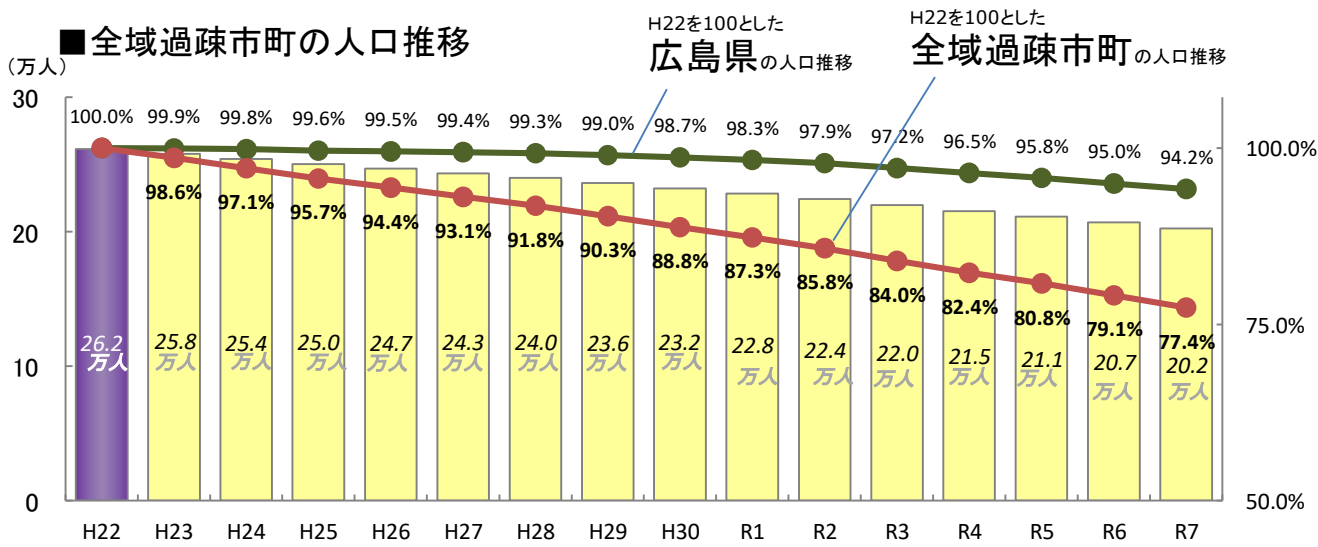
市町が行う海ごみの回収・処理等の取組を支援するとともに、「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム」の参画会員等と連携し、プラスチックの使用量削減・代替素材に係る先進的な取組への支援（リーディングプロジェクト支援補助金）や、ごみの流出防止に係る啓発活動、河川・海岸等での清掃など、総合的・効果的な海ごみ対策を推進

◆ **「広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動」推進事業【危機管理監】**

県民一人一人が自らの判断に基づき、適切な避難行動を実践できるよう、「マイ・タイムライン」の普及促進や自主防災組織による避難の呼びかけ体制構築・実践の促進、初動・応急対応の強化など、「自助」、「共助」、「公助」にわたる、より効果の高い被害防止策を実施

《中山間地域の人口》

〔広島県人口移動統計調査より算出〕

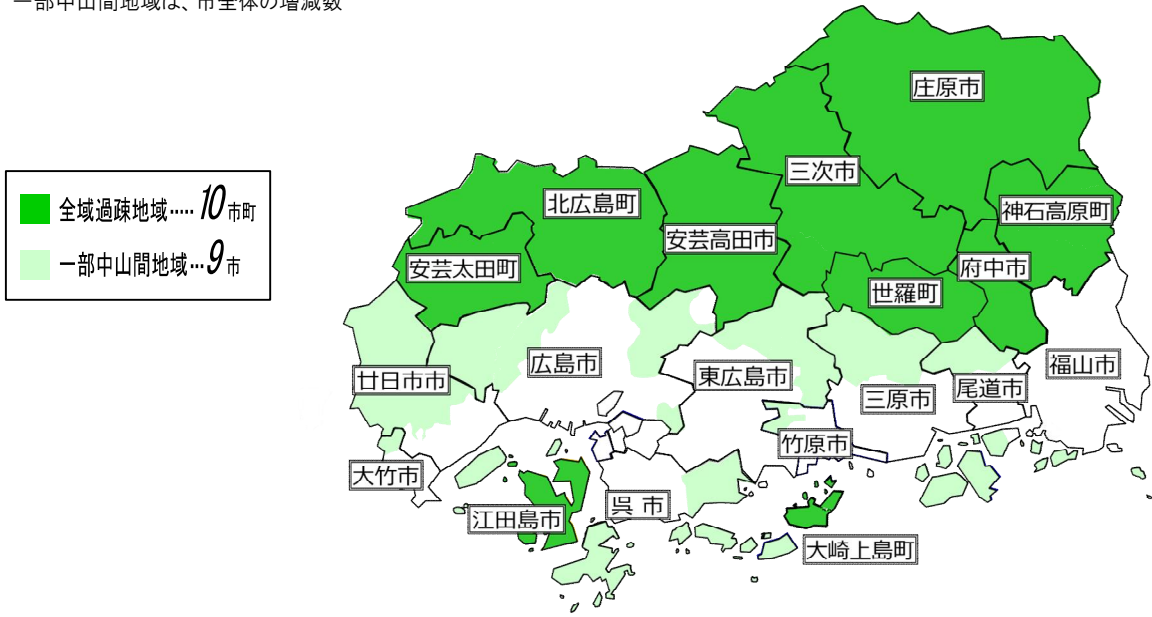


■ 令和7年の市町別人口増減

（令和6年10月1日～令和7年9月30日）（単位：人）

自然増加		自然減少							
社会増加		東広島市	666	(1,327	▲ 661)	福山市	▲ 3,037	(161	▲ 3,198)
		熊野町	▲ 59	(148	▲ 207)	広島市	▲ 5,558	(82	▲ 5,640)
		大崎上島町	▲ 140	(16	▲ 156)				
		廿日市市	▲ 809	(28	▲ 837)				
社会減少		呉市	▲ 4,224	(▲ 1,346	▲ 2,878)	大竹市	▲ 362	(▲ 52	▲ 310)
		尾道市	▲ 1,896	(▲ 97	▲ 1,799)	世羅町	▲ 342	(▲ 90	▲ 252)
		三原市	▲ 1,242	(▲ 75	▲ 1,167)	府中市	▲ 294	(▲ 168	▲ 126)
		庄原市	▲ 806	(▲ 216	▲ 590)	北広島町	▲ 269	(▲ 2	▲ 267)
		府中市	▲ 730	(▲ 225	▲ 505)	神石高原町	▲ 234	(▲ 50	▲ 184)
		三次市	▲ 718	(▲ 126	▲ 592)	坂町	▲ 199	(▲ 118	▲ 81)
		安芸高田市	▲ 616	(▲ 164	▲ 452)	安芸太田町	▲ 159	(▲ 15	▲ 144)
		竹原市	▲ 530	(▲ 97	▲ 433)	海田町	▲ 59	(▲ 38	▲ 21)
		江田島市	▲ 468	(▲ 49	▲ 419)				

※ 表中の数値は、人口増減数（社会増減数、自然増減数）
※ アンダーラインは全域過疎市町
※ 一部中山間地域は、市全体の増減数



—《令和7年度のトピックス》—

4月

- 移住を検討する際に必要となる様々な情報を、生成 AI によってワンストップで提供する「ひろしま移住 AI ナビ」の運用を開始(4月)
- 「ひろしまブランドショップ TAU」が、2012年のオープンから約13年で、来館者1,000万人を達成(5月)

5月

6月

- 大阪・関西万博で、安芸高田市の合同神楽団が「阿波おどり」と史上初のコラボレーションで会場を盛り上げる(7月)

7月

- 一般社団法人日本野菜ソムリエ協会が開催した、「第1回 全国夏いちご選手権」において、廿日市市吉和の「冠苺(かんむりいちご)」が最高金賞を受賞(7月)

8月

- 安芸太田町加計で、県内で初めて40度の気温を記録(8月)
- 保護者の視点から体育祭やPTA新聞を改革した、世羅高校PTAが優良PTA文部科学大臣表彰を受ける(8月)

9月

10月

- どんぐり北広島ソフトテニスクラブの選手が、「第9回アジアソフトテニス選手権大会団体」及び「第80回天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会女子ダブルス」で優勝(9・11月)

11月

- 大崎上島町の「きのえ温泉 ホテル清風館」が、旅して日本プロジェクトが主催する温泉総選挙2025「絶景部門」で2年連続全国1位を受賞(11月)

12月

1月

- JAグループ開催の第50回「『ごはん・お米と私』作文・図画コンクール」で、安芸高田市立美土里小学校の児童が図画部門の最高位「内閣総理大臣賞」を受賞(1月)

2月

- 「第37回昭和新山国際雪合戦」で、庄原市の雪合戦チーム「雪人」が一般の部で第3位に入賞(2月)

3月

- 瀬戸内しまみ海道の自転車通行料金の無料化が、2028年3月までの2年間、延長することが決定(3月)
- 「宮島細工の製作用具及び製品」が、国の登録有形民俗文化財へ登録(3月)